

まちづくり懇談会議事録

日 時：平成 30 年 11 月 6 日（火） 9：59～11：46

場 所：鳩山中央公民館

出席者：6 人

1. 開会
2. 町長挨拶
※資料確認
3. 説明事項
(1) 栗山町第 6 次総合計画後期実施計画策定について（資料①・②）
4. 懇談
(1) 栗山町が直面する主な課題について（資料③）
※自由懇談
5. 閉会

《懇談会内容》

提言：栗山町は、いろいろと発想したことはやるのだが、その後のランニングの計画がない。三栗線、遊歩道をつけ、御大師山へ繋げていくという話であったが、止まっている。役所も人が変わると、話がストップしてしまう。前町長へ道路の草管理のことを言ったことがある。

町長：道道の件は、道管理事務所へ要望している。

意見：要望しているだけではないか。

町長：要望するしかない。

意見：人口が増えないのだから、日赤の問題もランニングも考えていかないと。これからは、将来も見据え、考え方を大幅に変えていかないとならない。

町長：先ほど説明したとおり、病院建設まで 7・8 年、関係協議だけでも 3・4 年かかる。美唄市が建設費の高騰で揉めているように、過去に決めたはずのことが年数経過による情勢変化とともに変わってくる。

意見：鳩山記念館は、鳩山さんの思い込みで、建てても地元もどれだけの人が理解しているのか。草管理なども地元でやるのか。建てるのであれば、鳩山からは離れるかもしれないが、人の集まる国道沿いなどで実施するのが良いのでは。イメージがわからない。

意見：工業団地のトップセールスとあるが、いい企業がないと人も定住しない。何か良い企業を引っ張ってきてほしい。栗山高校の対策、英文科だとか高専化もそうだが、いろいろやっていかないとならないと思う。

町長：工業団地は、32 区画中 28 区画で残り 5 区画しかないということで、新たに 7 区画造成した。誘致を進めていく。栗山で働いている約 6,000 人の 25%しか栗山に住んでいない。住んでもらう対策を進める。やりっぱなしではなく、3 年程度実施して効果を検証していく。